

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2007-55009(P2007-55009A)
【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-009
【出願番号】特願2005-241123(P2005-241123)
【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月22日(2008.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のデータと第 2 のデータをホストから受信するデータ受信手段と、
記録媒体に取付けられた無線通信素子内部のメモリに前記第1のデータを書き込む情報書き込み手段と、
前記無線通信素子と通信するための通信アンテナと、
前記記録媒体表面に前記第 2 のデータを記録する記録ヘッドと、
前記無線通信素子との通信可能領域を識別する通信可能領域識別手段と、
を有する記録装置において、
前記通信可能領域識別手段は前記メモリへの書き込み可能領域を識別する書き込み可能領域識別手段と、
前記メモリからの読み出し可能領域を識別する読み出し可能領域識別手段をさらに有することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記書き込み可能領域識別手段と前記読み出し可能領域識別手段は、所定の搬送速度で搬送される前記記録媒体の、前記メモリへの書き込み可能領域と前記メモリからの読み出し可能領域を識別することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】

前記書き込み可能領域識別手段は、前記記録媒体を搬送路上所定の複数位置で停止し、前記書き込み可能領域を識別することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 4】

前記読み出し可能領域識別手段は、前記記録媒体を搬送路上所定の複数位置で停止し、前記読み出し可能領域を識別することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

即ち本発明の記録装置は、

第1のデータと第2のデータをホストから受信するデータ受信手段と、
記録媒体に取付けられた無線通信素子内部のメモリに前記第1のデータを書き込む情報書き込み手段と、
前記無線通信素子と通信するための通信アンテナと、
前記記録媒体表面に前記第2のデータを記録する記録ヘッドと、
前記無線通信素子との通信可能領域を識別する通信可能領域識別手段と、
を有する記録装置において、
前記通信可能領域識別手段は前記メモリへの書き込み可能領域を識別する書き込み可能領域識別手段と、
前記メモリからの読み出し可能領域を識別する読み出し可能領域識別手段をさらに有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

又、本発明の記録装置の前記書き込み可能領域識別手段と前記読み出し可能領域識別手段は、所定の搬送速度で搬送される前記記録媒体の、前記メモリへの書き込み可能領域と前記メモリからの読み出し可能領域を識別することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

又、本発明の記録装置の前記書き込み可能領域識別手段は、前記記録媒体を搬送路上所定の複数位置で停止し、前記書き込み可能領域を識別することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

又、本発明の記録装置の前記読み出し可能領域識別手段は、前記記録媒体を搬送路上所定の複数位置で停止し、前記読み出し可能領域を識別することを特徴とする。